

道軟連合会報

2021年度 前期号
2021.6.30
第79号
発行所
北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 奥山英明
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

◆二〇二一年度定時評議員会の開催◆

新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛のため書面による議決

二〇二一年度定時評議員会が三月十三日(土)に札幌市内の「札幌サンプラザホテル」で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見られずまた道内各地にも感染が広がる状況から、当連も感染防止一環として、昨年に引き続き二回目の書面決議をお願いしたところで

す。議題は、各種事項の報告及び承認案件、協議事項などが無事書面採択され新しい年度がスタートしました。

以下は、二〇二一年度の主な各部の事業推進計画です。

① 総務部事業推進

- ・引き続き健全な組織運営と安定的

な財政運営に向けた、見直しや検討を行い軟式野球を通じたジュニア世代の育成と生涯スポーツとしての取り組みを進めます。

- ・適宜、規約・規程等の見直しを行い、支部との連携を強めながら、組織全体の活性化を図ります。また、コンプライアンス(法令順守等)の意識向上と取り組みの強化を行い国民的スポーツである軟式野球の普及に努めます。さらには法人化に向けた諸準備を進めます。
- ・会員への周知事項や大会速報などの確な情報の提供や共有に向けたホームページや会報等の充実に努めます。また、引き続き北

② 育成強化部事業推進

海道大会などにおける「コロナウイルス感染症対策」を講じ、安全で円滑な大会運営の確立を目指します。「公認記録員」や「放送員」の要請に向けた講習会の開催などスムーズな大会運営に向けたスタッフの育成に努めます。

③ 審判部事業推進

- ・成長期のスポーツ傷害予防・指導者講習会、少年野球指導者研修会の実施
- ・公認スポーツ指導者養成講習会は、NPO法人北海道野球協議会と連携を図る
- ・支部及び地区審判講習会の実施による審判員の資質向上と技術の普遍化を図る
- ・北海道・東北ブロック全軟連審判技術指導員研修会への技術指導員の派遣
- ・技術指導員スキルアップ研修会への参加
- ・公認審判員試験の実施
- ・審判部役員、技術委員、支部審判部長、支部技術員合同会議と研修会の実施

なお、二〇一九年度の連盟功績賞受賞者二名については、あらためて二〇二一年度の定時評議員会にて表彰を行う予定でしたが、その定時評議員会の開催が本年度も中止となりましたので、二〇二〇年度の連盟功績賞受賞者三名と合わせ表彰と記念品を推薦いただいた当該支部へお送りし本人に手渡しをお願いをいたしました。受賞された皆さんには、あらためて永年のご功績に対し厚く感謝を申し上げます。



☆ 道連の新しい次期役員推
薦選考委員が決まる ☆

（委員長に竹内氏（後志支部評議員）・
副委員長に李沢氏（旭川支部評議員））

来年は、道連の改選期（二〇二二・
二〇二三年度期）にあたります、新
しく六名の各ブロック評議員の中か
ら役員選考委員が決まりました。

道南ブロック 竹内 恒雄氏
（後志支部評議員）

道央ブロック 高橋 潤也氏
（札幌支部評議員）

道央南ブロック 穴田 昇氏
（苫小牧支部評議員）

道北ブロック 李沢 幸悦氏
（旭川支部評議員）

オホーツクブロック 三野 悦克氏
（北見支部評議員）

道東ブロック 梅村 紀夫氏
（十勝支部評議員）

以上の方々です。

何かとお忙しい中ご苦労かけます
がよろしくお願ひします。

（総務部）

新しい各支部・副理事長・評議員・技術員等の紹介

千歳支部 副理事長



清水為一氏

昭和20年
1月12日生

平成7年 二級公認審判員
平成9年 一級公認審判員
平成29年 千歳支部 理事
令和3年 千歳支部副理事長

千歳支部 評議員



小林 彰氏

昭和23年
5月5日生

昭和58年 二級公認審判員
昭和62年 一級公認審判員
平成31年 千歳支部副審判部長・理
事
令和3年 北海道軟式野球連盟千歳
支部評議員

北空知支部 評議員



藤原栄一氏

昭和40年
3月1日生

平成25年 一級公認審判員
平成28年 月形町軟式野球連盟理事
長
平成28年 北空知支部理事
令和3年 北空知支部評議員

北空知支部 技術員



林 裕樹氏

昭和50年
4月9日生

平成25年 二級公認審判員
平成27年 北空知支部事務局次長
令和元年 一級公認審判員
令和3年 北空知支部技術員

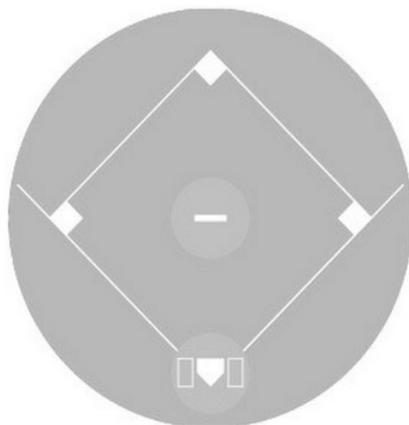
旭川支部 監事



高橋 誠氏

昭和27年
12月12日生

令和3年 旭川支部監事
※名門プリーズの監督を務める人
望の厚い人で、旭川支部を支えて
くれること間違いなしです。
（旭川支部 安井総務部長談）



支部トピックス

千歳支部

「千歳支部審判講習会」を開催!

千歳市には珍しく汗ばむ陽気に恵まれた四月二十九日(木)、三十名の参加で令和三年度千歳支部審判講習会を開催しました。昨年度はコロナ禍で中止したため開催にあたり検温を始め最大限の感染症対策をとり実施しました。

千歳スポーツセンターでの座学に続き実技会場の青葉球場では限られた時間内で実りある内容とすべく鳴海審判部長、菊地技術員の苦心の間割により準備体操から最後のキャンプゲーム迄充実した講習となりました。冬眠から覚めた皆さんが年齢の割に?生き生きとした動きを見せる傍で若手の審判員が澁澁としたパフォーマンスを披露していました。また事前に座学を終えた学童審判員にはベテランが基本動作を指導し約4時間に及ぶ講習会を無事終えました。

(千歳支部リポーター・清水為一)



小樽支部

「新チーム紹介『北崎シールックス』」



今年度から小樽支部に登録する「北崎シールックス」です。北崎シールックスは、小樽市奥沢で燃料販売を主に営む「北崎商店」が、奥沢小学校を巣立った野球少年を中心メンバーとして、地域とともに歩み、地域に応援してもらえる野球チームを目指し、北崎商店の前面バックアップのもと結成されたチームです。練習は、基本的に平日の夜または公園グラウンドの空き時間を利用した練習試合などで行っています。悩みは、選手全員の勤務先が異なるので全員揃って練習することが適わないこと

ろですが、野球に対する情熱と幼い頃からの強い絆でカバーしています。今年の目標は、まずは一勝、できれば全道大会で自分たちの今の実力を推し量かることを目標としています。中心選手が二十代と若いチームですが、コロナ禍で苦しむ地域の方々に野球を通して勇気を与えることで地域に貢献していきたいと思えます。(監督 見山義秋)

南空知支部

「二〇二二年度 シーズンに向け審判講習会を開催」

五月二日、新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、美瑛市宮球場において地元チームのご協力を頂き、南空知支部各連盟四名程度に参加者を絞り三十二名で、年度はじめの講習会を開催しました。

座学では、本年度の規則及び競技者必携等の改正点、昨シーズンの事例などについて説明が行われました。実技は、四班に分かれ、球審の構え、ストライクゾーンや各塁審での基本的な動きなどを確認しました。特に球審では、投球判定時に顔を

動かしたりせず、目の動きだけでボールを追う動作(トラッキング)を確認するなど、人数を絞ったことにより、各人の繰り返し時間の確保、具体的に効果的な講習が行われました。

また、いろんなケースを想定した質問が出るなど、各審判員が熱心に、この講習会に取り組んでいる姿勢がみられました。

二〇二二年度においては、各種大会での適正かつ公平な判定に加え、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、選手が安全で安心して試合に臨めるよう環境づくりにも、配慮しながら、皆で力を合わせ頑張ります。

(南空知支部 西脇)

旭川支部

「少年野球指導者講習会の開催」

二〇二二年二月六日(土曜日)鷹栖町北野住民センターにて行われた。長野会長あいさつの後講習に入る。講演一 「スポーツ指導者と倫理―倫理ガイドラインを中心に」と題して当支部の李沢幸悦氏で昔とは違う指導方法や過去の事例などであっ



密にならないように距離を取っての講習風景です

た。

講演二 「スポーツと栄養&熱中症対策」大塚製薬事業部課長補佐 竹川 悟氏

水分を早く吸収する適温は?的確な対処方法などであった。

講演三 「学童期におけるスポーツへの動機づけ」国立大学法人 北海道教育大学 准教授博士(体育学科) 小谷克彦先生の講演で、子供の心理を追求した素晴らしい内容であった。

講義四 「障害予防のためのコンデ

ショニング」大西病院 理学療法士 大迫伸也先生
昨年十一月に行われた 肘&フィジカル検診の集約であった。身体の柔軟性がいかに大切かを力説されていた。

講義五 「歯とスポーツデータから見たマウスガードの必要性」松田 歯科クリニック院長 松田昌紀先生
マウスガードで歯の食いしばりをより一層強くできる。子供は成長するので毎年作らなくてはいけない。等であった。

以上有意義な五講義であった。これからもこの指導者講習を継続してほしいと思います。この会を企画していただいた関係諸氏に感謝申し上げます。

(リポーター 旭川支部)

少年部長 大澤秀二

旭川支部

「二〇二二年度 旭川支部 審判技術講習会の開催」

二〇二二年四月十八日、東光ド



外での実施のみを企画しました。

五十嵐技術員を中心に支部指導スタッフが何度もミーティングを行い、九時から十五時までの予定でカリキュラムを組み当日にのぞみました。が、当日の天候は雨。残念ながら十一時には終了となりました。そんな状況の中でしたが四十二名の審判員に参加いただき、また一般チーム二チームにもご協力いただき、皆真剣に受講していただきました。

今年度もコロナ次第で大会運営も大変な状況になってくると思われるのですが、私たち審判員は常に最善のジャッジができるよう心掛け、日ごろから技術向上に努めるよう新たな決意をもって今シーズンを乗り切っていきたいと思えます。

(旭川支部 山口政人)

留萌支部

「熱中症に注意し、プレイ・ベースボール」

令和三年四月十一日(土)十三時三十分から苫前町公民館で、北海道軟式野球連盟留萌支部総会が開催された。

会議冒頭、支部長中村正幸(留萌)から「昨年は、各連盟の協力のもとコロナ対策に配慮いただき、一人も感染者を出さずに試合ができました。新型コロナウイルスの状況は、まだまだ予断を許さない状況である。支部として最善の注意を払い、野球人としてできる限りの対策を進



めていきたい。各連盟のご協力を頂き、予定の事業を進めてまいります。」と挨拶。

事業計画、予算等の審議の後、石見正巳技術員から野球規則改正の報告があった。

その後、道北五支部で取り組んでいる熱中症対策として「ベストパフォーマンスのための水分補給」と題し、大塚製薬(株)の竹川智氏が講演。「道産子は、熱中症に対する危機感が薄いと調査結果が出ている。赤ら顔、目の焦点が合わない、名前を呼んでも返事ができないなどの症

状が見られたら、ためらわず救急車の要請を勧める。」と講演を行った。

同行した旭川支部理事長竹本功氏は、「この講習会は、留萌支部を皮切りに、道北五支部で順次開催していく。運営スタッフ、審判として選手の手体管理に留意していきたい。」と話した。

この講演を受け、各連盟においては地元チームや指導者、保護者に、「熱中症対策には、深部体温を下げる必要がある。従来は、動脈を冷やすことが有効とされていたが、現在は、足の裏、手のひら、ほほを冷やすことが効果的。」等の対応を伝えていく予定。

(留萌支部理事長 辨開淳美)

十勝支部

「十勝支部審判講習会」

五月九日(日)十勝管内所属の審判員及び学校関係者、総勢八十名ほどの参加により帯広の森平和球場にて審判講習会が開催されました。

コロナ感染症対策として実施前の検温消毒、チェックリストの作成等講習会以外の確認作業が役員を苦しめていたの言うまでもありません。

道連各部近況報告

● 審判部

本年度も、コロナ感染症が収まる兆しもなく、ますます猛威を奮っており、関係する会議が軒並み中止になる中で、四月三日に札幌市で開催を予定していた支部審判部長会議と技術員会議及び講習会を旭川支



内容についてはコロナ禍を考慮し、規則改正と重要項目について座学と実技を行い、午前中で終了することとしました。なかなか感覚が戻らず悪戦苦闘していた方が多いようでしたが、次第に体が動くようになり、何とか実戦形式まで持ち込むことができました。

この講習会を通じ、受講された方々の真剣な眼差しが携わる我々関係者も、更なる底辺の拡大に努力しなければと思いを新たにいたしました。

(十勝支部事務局 加藤和博)



部の協力により予定通り開催することができました。

審判部長会議では、二〇二〇年の報告と二〇二一年の事業報告等を説明いたしました。その他に、支部が抱える審判員の高齢化及び担い手不足等、活発な討論が行われ有意義な会議であったと思っております。

単に解決できる問題ではありませんが、道連審判部との連携を深め、より良い方向に進めるべき努力することとで一致しました。その一環としてブロックから代表審判部長を専任していただく事になりました。

道連審判部も支部へのアンケート調査等を行い、現状を把握していきたいと考えていますが、広範囲になりますので代表審判部長に協力が得ればと思っています。また、各ブロック内支部からの意見・要望等の集約もお願いしたいと考えております。

何れにいたしましても、コロナ禍で各支部でもご苦労していることと思いますが、今年度の大会等が無事に終わることを信じて、共に頑張りたいと思っています。



●育成強化部

二〇二〇年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から育成強化部全ての事業が中止となりました。

二〇二一年度のスタートとして1月に部会を開き事業計画、予算等も含めて準備しましたがその後、昨年度と同じく事業が停止している現状です。

道の「緊急事態宣言」が解除になり、ワクチン接種も早く皆さんが二回接種出来ることを願っております。
早く普通の生活に戻りたいですね。



〈お知らせ〉

一・二〇二一年度北海道大会の一部日程の及び申込期限変更について現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案し、二〇二一年六月から八月上旬までの大会日程について下記のとおり一部変更いたしましたので承知願います。(当連ホームページにも掲載しております)
また、今後のコロナウイルス感染状況によっては、大会の日程に変更又は中止も検討されます。

なお、「第五十回全道少年軟式野球大会」の会場が当初「札幌つどーむ」を予定しておりましたが、札幌市のコロナウイルスワクチン集団接種会場に指定されたため八月一日(日)から札幌市東区「美香保公園野球場A・B・C」での開催に変更になりました。

2021年度北海道大会の一部日程及び申込期限変更一覧(6月から8月上旬分)

No.	北海道大会名	開催支部	開催日変更有無	大会申込期限		組合せ抽選日
				変更前	変更後	
1	天皇賜杯第76回全日本軟式野球南大会	苫小牧	変更有 (9/4~9/6)	7月6日	8月24日	8月25日
	天皇賜杯第76回全日本軟式野球北大会	中標津	変更有 (8/28~8/30)	7月6日	8月17日	8月18日
2	高松宮賜杯第65回全日本軟式野球(1・2部)南大会	西胆振	変更無 (7/10~7/12)	6月29日	7月6日	6月30日
	高松宮賜杯第65回全日本軟式野球(1・2部)北大会	釧路	変更有 (7/31~8/2)	6月15日	7月20日	7月21日
3	第76回国民体育大会軟式野球競技会北海道予選会	石狩	変更無 (7/31~8/2)	7月20日	7月27日	7月21日
4	日本スポーツマスターズ2021軟式野球南大会	日高	変更無 (8/7~8/9)	7月27日	8月3日	7月28日
	日本スポーツマスターズ2021軟式野球北大会	遠軽	変更無 (7/24~7/26)	7月13日	7月20日	7月14日
5	高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球(マック)南大会	函館	変更無 (7/3~7/5)	6月22日	6月29日	6月23日
	高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球(マック)北大会	旭川	変更無 (7/3~7/5)	6月22日	6月29日	6月23日
6	第38回全日本少年軟式野球大会	千歳	変更無 (7/17~7/19)	7月6日	7月13日	7月7日
7	第50回全道少年軟式野球大会	札幌	変更無 (8/1~8/4)	7月20日	7月27日	7月21日
8	NPBガールストーナメント2021	十勝	変更有 (6/26~6/27)	6月8日	6月15日	6月16日
9	第6回全日本中学女子軟式野球北海道予選	十勝	変更有 (6/26~6/27)	6月8日	6月15日	6月16日

二・「二〇二一年度支部理事長連絡
会議」の開催予定

日時…二〇二二年十一月十四日(日)

午後一時三十分

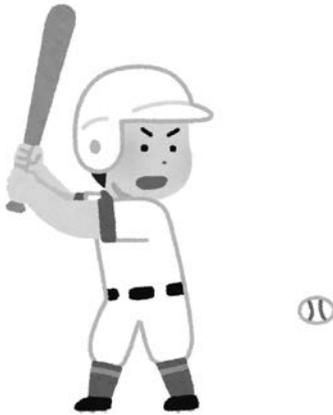
場所…道立総合体育センター

二階 講堂

(駐車場の使用できませんの
で公共交通機関を利用願いま
す)

なお、同日会議前に「役員選考委
員会」を開催する予定です。

(総務部)



編集後記

二〇二二シーズンが始まりました。

昨年は新型コロナウイルス感染
拡大から、いろいろな全国大会の
中止など、考えてもみなかった
シーズンとなりました。

今年はどうなるのだろうかと思っ
ていましたが、昨年より感染が拡
大し、厳しいシーズンを迎えてい
ます。

しかし、そのなかでも感染リス
クに細心の注意を払い、感染予防
対策ガイドラインを遵守しなが
ら、出来る限りの大会を進めてい
かなければなりません。

新型コロナウイルスに感染しな
いことは大事ですが、運動をして
健康に暮らして行くことも必要な
ことだと思っています。

野球に限らず、全てのスポーツ
に言えることですが、大会運営に
は感染拡大防止を考え無観客試合
にするなど、いろいろな制限を設

けながら開催することがありま
す。

選手たちの躍動する姿を近くで
見られないというのは、応援する
側にとってはもちろんですが、プ
レーする選手にとっても残念な気
持ちだと思っています。

それでも感染拡大を防ぐため
は、仕方がないことです。

誰も経験のないこの状況の中
で、好きな野球をプレー出来るこ
とを、チームメイト、対戦相手な
ど全てのプレーヤーに感謝して、
一人一人がより一層のスポーツマ
ンシップ(尊重・勇気・覚悟)を
発揮し、フェアなゲームを楽しみ
ながら、この大変なシーズンを乗
り越えて行きましょう。

(総務部 小川 敏也)

